

はい!

やくも町議会

第 84 号

令和7年2月

編集/議会広報広聴常任委員会



アンケートにご協力ありがとうございました。(議会カフェin二十歳の集い)

13ページに関連記事あります!

映像配信中! YouTube
「八雲町議会」で 🔍 検索



主な内容

	ページ
○一般会計補正予算	②
○新役場庁舎、案固まる!!	③
○8名の議員が町政を問う(一般質問)	④
○議決・賛否一覧他(定例会・臨時会)	⑫
○議会カフェを開催!	⑬
○常任委員会の活動(所管課報告)	⑭
○八雲文化研究会事務局の皆さん(耳をすまして)	⑯



第4回定例会

令和6年度一般会計補正予算

7,025万円追加

(補正後の総額 172億4,384万5千円)

第4回定例会は12月9日から12月12日までの会期で開かれました。補正予算、条例改正、工事請負契約の締結など議案16件、専決処分の承認2件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

補正の主な内容

ウイスキー蒸留所（仮称）設立法人出資金
2,400万円

ジャパニーズウイスキーへの国内外からの注目が集まる中、八雲町において新たな産業や地域ブランドの創出・地域の魅力向上を目指す取り組みとして、ウイスキー蒸留所を整備するもので、民間事業者と八雲町が出資し設立する新法人に対する出資金。



出資比率：資本金1億円（想定）のうち八雲町の出資は2,400万円

アイヌ農林漁業対策事業補助金
4,064万3千円

全自動ホタテ耳吊り機12台分に対する補助金。
(八雲町漁協対象)

漁業振興設備等整備事業補助金
660万円

北海道の地域づくり総合交付金を活用した漁業振興設備等の整備事業。（八雲町漁協対象）

- ・八雲漁港の上架設備整備
- ・ホッキ貝採捕器具購入

資源ごみ収集売払金請求訴訟業務委託料
44万3千円

平成26年度、債権者が収集した空き缶・アルミスチール缶の売払金160万円について、現在まで未納となっている業者に対し、債権回収に向けた弁護士への業務委託料。

工事請負契約の締結

町道相沼内川沿線災害復旧工事
6,765万円

契約の相手方 東陽建設株式会社

新役場庁舎 案固まる!!

<報告の経緯>

<R6. 3. 15 全員協議会>

・費用及び維持管理費の軽減を図るため、大屋根部分が3階から2階へ下がるなどの変更案が示された。

- ・再度、町民説明会を開催すべき。
- ・複数案から選択させたほうがいいのではないか。

<R6. 12. 12 全員協議会>

・冒頭、町長より「新庁舎の建設については一旦立ち止まって、どんな形がいいのか見直しをする。」との報告があった。
 ・実施設計を2ヶ月延長する。
 ・新庁舎の引越しはR10. 1月以降。

- Q 一旦立ち止まるというのは、具体的にどの部分か？
- A 大屋根の部分。中身を変えるのは難しい。
- Q 議場の面彫り天井など、お金のかかる部分はやめたほうがいいのではないか。
- A 経費をかけないようにやっている。

<R7. 1. 16 全員協議会>

・大屋根部分の見直しについて「現行案」のほか、3つの「検討案」が示された。

	変更箇所とスケジュール	工事費等	起債、補助金について
検討案①	・大屋根の形状は変更せず、補強部分（リブ）の材質を木材から金属系に変更。 ・令和7年度着工。	設計修正費：約1千万円 工事費：微増	・変更なし。
検討案②	・大屋根廃止。 ・町民説明会を実施し、令和7年度末に着工。	追加設計費：約7,300万円 工事費：庇の撤去で約1億円減となるが、開口部の見直しにより増額の見込み。	・ZEB補助金が受けられない。 ・現実実施設計に充当した起債の返還が求められる。 ・修正実施設計に起債を充当する際、満額借入れできないペナルティの可能性が高い。
検討案③	・大屋根廃止。 ・町民説明会を実施し、検討期間を設け令和8年度に着工。	検討案②と同じ。	・令和7年度中に工事着工ができないため、建物解体に充当した起債及び現実実施設計に充当した起債の返還が求められる。 ・修正実施設計に起債を充当する際、満額借入れできないペナルティの可能性が高い。

<議員間で協議の結果>

議長を除く全議員で決を採った結果、「現行案」2票、「検討案①」9票、「検討案②」1票、「検討案③」0票となり、議会としては「検討案①」の、軽微な修正で日程及び財源に影響のないかたち（令和7年11月着工予定、令和10年供用開始）を進めることを選択した。

一般質問

町政を問う！

※質問した議員本人が原稿を書いています。

一般質問とは？

町の仕事の全てを問いただし、自由な意見を述べ、それについて町の公式見解を引き出すことのできる機会。華やかであるが「力量」が問われる。

Q

U・Iターン就職奨励金事業

継続しながら今後に向けた検討を

さいとう まこと
齋藤 實 議員

問

令和4年度より制度化したU・Iターン就職奨励金事業については一定程度の事業評価をしながら、今後につながる見直しをせざる、当初の計画どおり事業を終了すると、総務経済常任委員会で報告があった。
八雲町の大きな課題は人口減少である。この事業は移住・定住につながっており、雇用促進にもなっている。町の財政問題での事業終了は理解できない。町長の考えを伺う。



町長

U・Iターン就職奨励金事業は、産業の活性化と移住・定住の促進を目的とする事業で、3年間を一区切りとして制度全体を見直していくことになる。

利用者と事業者からは評価をいただいている一方、制度を利用された方のうち3割の方が早期に退職されている状況にある。

また、今後の財政状況も予測し、より効果的な施策について検討していきたいと考えている。

問

財政が厳しくなるのはわかるが、事業を継続しながら検討していくことにはならないのか。

町長

3年で区切りをつけて、今後について検討していきたい。

その後、全員協議会の中で町長と協議する場を設けたところ、町長から「1年間、事業を継続し、今後について検討していく。」と報告があった。

Q 避難所環境整備について

問 政府が決定した経済対策の中で「国民の安心・安全の確保」

があり、簡易ベッドの備蓄やキッチンカー、トイレトレーラーの登録制度など、避難所環境の改善に取り組むこととなっている。

八雲町で、この制度を活用する考えはあるか。

町長

トイレトレーラー、キッチンカーについては、様々な視点から検証しているところである。

今後も、活用可能な施策であれば検討していきたい。

問

トイレトレーラーについては、どの程度検証しているのか。

危機対策課長

現状では簡易トイレを中心に備蓄しているところであるが、トイレトレーラーについては、自治体単独での導入には様々な課題があるため、国や北海道、周辺自治体の動向を注視しながら、引き続き調査を進めていきたい。

Q

商工業者の担い手づくりに本気を見せる！

みさわ 三澤 議員
きみお 公雄



うために協力隊を派遣したはず。隊員が途中で辞めた時に、なぜ、すぐに補充のための支援をしないのか。

商工観光労政課長 隊員の活

動内容(事業承継への意向調査等)について、もう少し詰めていく必要性があると考える。

問 取り組みは始めたばかりなので、試行錯誤を繰り返してこそ「本気」が見える。「本気」が見えないと周りがあきらめてしまう。

町長 八雲町では事業承継や起業、新分野へ挑戦する方に3年間支援をする仕組みとして「中小企業等設備導入支援事業」をつくった。また商工会では国の各種補助金や専門家派遣制度を紹介する支援を行なっている。

商工観光労政課長 事業主に

事業承継への理解、重要性の認識がまだまだ浸透していないと考える。商工会とは、現実的な取り組みができるよう協議していきたい。

問 商工会の課題は、事業主への聴き取り等の接点づくりでの「マンパワー不足」だ。それを補

Q 木彫り熊ブームを

もっと大切に…

問 「外」で火がつき、それを大切にしてきた「町民」があつての、今日の「木彫り熊ブーム」だ。なのに、関わっている町民を落胆させるような事例がある。共に盛り上げられる仕組みづくりをすべきだ。

教育長 取り組みに参加した皆様と、どのような繋がりを持ち、更に盛り上げていけるのかについて、意見交換しながら、連携や情報共有など、具体的な方法について検討していきたい。

問 「木彫り熊ブーム」を商売に活用するところが現れ、商業分野が教育委員会にとって「苦手」だという自覚があるのなら、民間の方々の力を借りることを、もっと速やかにやられていなければならぬのではないか。

教育長 「求められたことに協力する」というスタンスが先に立ち、還元するという視点が薄かった。今後、そういうことが「できるかどうか」を議論していきたい。

できるかどうかではなく、やらなくてはいけない！ (三澤)

Q 選挙時のSNSの悪用を
選管で防げないか？

問 選挙管理委員会が、選挙時

にも「選挙における正しい情報」を公式ウェブサイトに流せたなら「有権者の判断の拠りどころ」になるだろう。どのような情報を流すのか、町民とともにつくれたなら、まちづくりや政治に関心を持ってもらう機会にもなると思うが。

選管事務局長 どういったものであれば出せるのかを検討する。

Q 健診率アップを目指して

問 八雲町の健診率が全国、全道平均よりも低い。どのように健診の推奨をしているのか。

町長 広報やLINEの発信のほか、40歳以上の方への個別通知など、力を入れているが、なかなか健診率が向上しない。

健康に関心の低い「未受診者側」のほうにも問題があるのかもしれない。(三澤)

Q

地域医療について

より積極的な議論を！



まさひろ 正博 議員
せきぐち 関口

よる規模縮小は避けられないと考
えるが、検討や検証はされている
のか。

問

八雲総合病院・熊石国保病

院はそれぞれの地域において、長
年にわたり地域住民の健康と安心
を守り続けてきたが、今後、さら

なる人口減少・少子高齢化が進展
する中、病院を取り巻く環境や経
営は一層厳しさを増していく。

二つの自治体病院を維持してい
くため、地域医療・病院経営の問
題点について質問する。

①北渡島檜山医療圏人口の減少が
急速に進む中、八雲総合病院を現
状の規模のまま維持していくこと
は困難であり、病床数の削減等に

②医療・介護人材の不足は、今後
の地域医療の大きな課題であるが、
医療圏全体で医療・介護人材確保
を行っていくため、将来を見据え
た「地域医療連携法人」を設立す
ることは有効ではないか。

町長

①地域医療を取り巻く情
勢は、急激な人口減少に加え、少
子高齢化が進行する中、慢性的な

医師・医療従事者の確保に苦慮し
ており、非常に厳しい経営環境が
続いている。また一般会計から多
額の繰入金により病院経営が維持
されているところであり、今後の
収支見通しにおいても、大変厳し
い経営状況が予想されている。

現在のところ、さらなる病床の
削減や診療体制の縮小などは具体
的に描けてはいないが、今後、八

雲総合病院のダウンサイジングは
避けられないといった視点に十分
留意し、運営していく。

②「地域医療連携法人」は、将来
的に大変重要な取り組みであるこ
とは認識しているが、まずは圏域
内の医療機関及び介護施設との連
携強化を進める中で、法人設立が
可能なのが有効なのか研究してい
きたい。

問

経営が厳しいから病床削
減・規模縮小ではなく、いかにし
て病院を維持していくかを考えた
とき、労働環境を改善していくこ
とを考えなければ人材確保には繋
がっていかない。

総務省が公開している病院経営
比較表によると、病床100床当
たり看護師・常勤職員数が全国平
均は78名、八雲総合病院において
は34・3名とあるが、看護師、常
勤職員の充足率はどうなっている
か。

総合病院事務長

充足はして
いない。もう少し看護職員を重層
的に配置して、緩やかな勤務・働
き方改革の促進へ向けて配置して

いくのが理想。これからも医師・
看護師・医療従事者の確保に努め
ていきたい。

問

熊石国保病院がグラウンド・
オープンを迎えるが、これから八
雲町としてどう維持していくのか
は大きな課題。八雲総合病院との
連携はもちろんだが、北渡島檜
山医療圏の連携は欠かすことがで
きない。八雲町が中心となり「地
域医療連携法人」の設立を。

町長

北部4町（八雲町、長万
部町、今金町、せたな町）を構成
する首長も、それぞれの病院の経
営状況に相当な危機感を持つてい
る。意見交換しながら連携を進め
ていきたい。

地域医療連携法人

「競争よりも協調」を重視し、地域で
の医療機能の分担や連携を進める目的
で、医療機関や介護施設などを運営す
る設立母体の異なる法人が共同参画す
る法人制度。

合併とは異なり、各法人の独立性を
維持しながら参加法人との連携を強化
できる。

Q

投票率を上げるには

ともこ 議員
さとう 佐藤

問

老人施設入所者や入院患者の投票は、どのようになっていくか。

選管委員長

各施設、病院にお

ける不在者投票は、投票管理者及び投票立会人の下、適切に執行されている。

問

投票所の減少、投票時間の繰り上げ等で高齢者や障がいのある方が投票しづらい状況となっている。投票所までの移動が困難な方のために、土幌町のように車の移動投票所により、自宅前で投票する形式を検討するべきではないか。

選管委員長

土幌町で実施された巡回式の移動期日前投票所は効果的な取り組みだと認識しているので、実施を検討していく。

選管事務局長

巡回式の移動期日前投票は茨城県つくば市で提案され、総務省でも告示の改正等を実施し、できるようになった。

来年7月の参議院選挙に向けて、投票立会人の確保が大変という声が届いている春日、熱田、大新の3地区を対象に取り組みを広げていきたいと考えている。

ドア・トゥ・ドアをお願いします。(佐藤)

問

現在行われている上八雲のほかに、八雲高校や総合病院での移動投票車による期日前投票を実施してはどうか。

選管委員長

高校生の投票機会を学校という身近なところで確保することは将来にわたっての投票行動につながる第一歩と考える。病院や商業施設などでの実施も投票率向上の効果が期待できる。設置場所等、検討していきたい。

Q 町長の特定政策事業 見直す考えは？

問

町長は青年舎、サーモン養殖と、新しい事業を次々と手掛けてきた。これらが軌道に乗らぬうちに今度はウイスキー事業。

町長はいつも、施設は町で整備するから企業に来てくださいというやり方だ。このようなやり方は、そろそろやめるべきではないか。

町長

企業が全部お金を出して八雲町に来てくれることが、企業誘致の一丁目一番地だと私も理解している。

問

建設費19億円のうち約3分の2を国や八雲町の補助金で賄い、残りは銀行借入れとなっているが、建設予定の民有地も町で買うのか。

町長

土地は事業の一環の中で新しい会社を取得することになっている。町が新たにお金を出すことはない。

Q 新役場庁舎は シンプルなほうが…

問

町民からは新庁舎デザインに対し不満の声が多い。町民が望むのは利用しやすくシンプルな役場庁舎だ。

財政が厳しくなる中、現在の設計で進むのは困難ではないか。

町長

新庁舎の屋根のデザイン及び雪害対策は当初より町民や議員から心配の声があり、屋根の高さを下げるなど、設計内容の見直しを行ってきた。

昨今、公共建築物において木材の腐食や劣化が進み、補修費が高額になっているとの報道があるが、新庁舎は軒天部分や屋根支えの鉄骨部に木材を張る構造、適切なメンテナンスで防げると説明されている。

これらのことから新庁舎建設は予定どおり、進めさせていただく。その後、会期中の全員協議会で、町長から「一度、立ち止まって検討する。」と報告があった。

Q

八雲町大型獣解体処理施設について

よこた きよし 議員
横田喜世志



ターの負担を軽減することを目的に整備したもので、解体後の肉や皮などは、捕獲したハンターそれぞれが自己処理している。

ジビエの活用については、施設を建設する際に検討した経緯があるが、食肉処理施設としての整備には至っていない。

問

平成31年の予算特別委員会で、八雲町大型獣解体処理施設事業に対し、ジビエの考えはないかと質疑をしたが、捕獲頭数などの課題があり難しいとの答弁があった。近年、捕獲頭数が相当数あることなどから、食肉の活用策として、少しでもハンターの収入源になるような仕組みづくりを目指し、ジビエの事業に向け、町が主体となり、協力隊などを登用する考えはないのか。

整備にあたっては、食品衛生法等に基づく衛生管理の徹底や運営する人材や事業者、安定した販路の確保などの課題があるが、捕獲した野生鳥獣をジビエとして活用することは、ハンターの負担軽減や収入増加、新たな特産品開発にも繋がるものと考え、事業化の可能性について研究していく。

町長 大型獣解体処理施設については、解体処理にかかるハン



Q 町補助金の在り方について

問

令和6年9月の決算特別委員会で、鉛川観光施設改修事業については町補助金を受けて民間事業者が発注していることから、契約書等の資料は民間事業者が所有となっており、町は実績報告書を精査し補助金を確定しているとの答弁であった。

そこで、情報公開条例により担当課へ資料の請求をしたところ、事業中止となったことから事業者により処分したとの回答であった。決算認定前にも関わらず書類を廃棄したとのことだが、今後は適切な文書保存の規定を改正する必要があるのではないかと。

町長

補助金等交付規則では、完成品の処分年限に関する規定を設けていないことから、事業者が処分していること自体はやむを得ないと判断しているが、今後、事業者における関係書類の保存年限について規定を見直し、4月から適用する予定である。

議会議会これからの予定

《2月》	13日	総務経済常任委員会
	20日	文教厚生常任委員会
	28日	議会議事運営委員会
《3月》	1日	議会議事運営委員会
	6日～14日	第1回定例会 予算特別委員会 全員協議会
		総務経済常任委員会 文教厚生常任委員会 広報広聴常任委員会 議会議事運営委員会

議会を傍聴してみませんか

次の議会は、

令和7年第1回定例会

3月6日(木) 午前10時から

開会の予定です。

お気軽に足を運んでみてください。

YouTubeで映像配信もします

Q

災害から命と財産を

守るためにするべきこと

くらち ぎよこ 議員
倉地 清子



人材教育、自助・共助の意識を育てる。

第2は「関係づくり」。町内会、各関係機関など、多様な団体組織の顔が見えるように。

第3は「体制づくり」。役場自体の防災・危機管理対応力の強化を進める。

問

今年度から八雲町では危機対策課が立ち上がり、平時での備えや災害時対策についての意識向上に向け地域防災マスター認定研修会を行った。また、町民向けの防災ワークショップなどを開催し、

共助を高める取り組みをしているところである。今後、八雲町は国の動向を見つつ、防災をどのよう

に考えていくのか。

町長

地域全体の防災力を高めるための3つの柱を定め、防災施策を展開している。

第1は「人づくり」。防災教育・

問

昨年11月に災害ワークショップが町主催で開催され、災害時における女性の視点の講話の中で、避難所での役割分担が偏っているという課題を上げていた。

という課題を上げていた。

専門的知識のある方の意見や防災マスターの女性の方などの意見を吸い上げて反映させることはできないか。

危機対策課長

防災会議の性質上、関係機関の長が集まるため、女性の比率を上げにくい中であるが、地域防災マスターの方々や防災意識の高い方を集めるなど、女性の視点を取り入れる策を講じていきたい。

問

避難所運営にあたり、男女の役割が偏ってしまう課題についてはどう考えているか。

危機対策課長

八雲町では避難所運営マニュアルを策定しているが、できるだけ男女の差による偏りが無いよう配慮し、視点を交えて改定作業を進めていきたい。

問

避難所運営の管理責任者は男女両方の配置が必要とされており、八雲町地域防災計画では町内会長を防災に関する地区の代表として地区責任者に任ずると記されているが、町としてどう考えるか。

危機対策課長

実際の運用としては、町内会長や、その他の

方々がリーダー的な役割を行うなど、柔軟な対応がなされていると思っている。

問

避難行動要支援者名簿の作成共有を町内会、民生委員だけでなく、その後できるであろう自主防災組織など、広く共有し、いざという時の円滑・迅速な避難支援をできる仕組みについての考えは、

危機対策課長

現状では町内会が主体となっているが、今後、自主防災組織が立ち上げとなった場合には検証していきたい。

問

意欲的な町内会もあるが、そうでない町内会もある。方向性や意思疎通をどのように図っていくのか。

危機対策課長

積極的に取り組める町内会から先行事例として展開していく方策が望ましいと考えている。今後については各町内会等の調査を進めた中で検証していきたい。



Q 八雲町も是非、健康経営宣言を！

あかい 赤井 議員
むつみ 睦美



八雲町でも職員の見解をしっかりと聴きながら、「健康経営宣言」をすべきではないか。

町長 職員一人ひとりが自己の能力を最大限発揮し効果的・効率的な行政運営を推進するには、職員全員が心身ともに健康であることが重要であり、健診受診をはじめとした健康増進に取り組むとともに、ワークライフバランスなどの働き方改革の推進や、良好な職場環境の維持が必要だと考える。

問 職員が心も身体も健康に過ごし、一人ひとりの力が十分に発揮できる職場環境をつくることもトップの大切な仕事。

「健康経営」は、「職員の健康保持・増進の取り組みが、将来的に収益性を高める投資である」との考えのもと、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること」であり、自治体においても「健康経営」の視点を取り入れることで、質の高いサービスの提供や効率的な行政運営につながる」とが期待されている。

健康経営にかかる先進的な自治体の取り組みや、健康分野で連携協定を結んでいる保険会社等の事例を学ぶとともに、職員の意見を尊重し、健康経営宣言に向け取り組む。

健康経営の最終目標は、職員の健康を維持しながら住民サービスの向上につなげることだが、まずは今の働く職場の改善に取り組む。上司が職員の声を聴く力を養うとともに、自分も初心に帰り、若い

職員との話し合いをしていきたい。

Q 任期12年の総括は？

問 町長も町議も任期1年を切った。町長はトップセールスマンとして全国を飛び回り、特に産業に全力で取り組んできたことは、町民誰もが感じている。

しかし、最近示された厳しい財政試算を見ると、今は大きなプロジェクトに着手するタイミングではないし、もう本来のあるべき姿に戻すべきではないか。

町長 は、これまでの総括をどのように判断しているのか。

就任1期目は、八雲町に関係ある企業や大学を訪問するなど、トップセールスとしてがむしゃらに動き、種蒔きをしてきた。2期目は蒔いた種が少しずつ芽吹き、日本最大規模となる太陽光発電や北海道初となるトラウトサーモンの養殖に着手し、研修牧場等の整備も進めてきた。

しかし反省すべき点も多く、役場庁舎の建設については、町民に対してもっと丁寧に説明すべきだったと思っ

たと思っている。

3期目は残り1年を切ったが、新しい事業に着手するより、今までやってきた事業をまとめていきたい。研修牧場は、研修させようにも2〜3か月で辞められてしまい、プログラム消化に至っていない。木蓮に関しても取り組みが甘かったと反省している。

私が町長に就任した時には、貯金が10億円、借金が15.6億円であったが、令和5年度の決算では、貯金が14.5億円、借金が12.7億円となった。

今後も関係機関等と情報共有しながら取り組んでいく。



八雲に芽が出て花が咲くかな？

Q

まだ大型投資を続けるのか

おおく ぼけんいち
大久保建一 議員

問

近年、ふるさと納税の好調を背景として投資的な大型事業が続いてきた。今後のひっ迫する財政を前に、町民のために行っていく事業とは何か、考えを伺う。

町長

今後、厳しい財政状況が見込まれるが、予想以上の人口減少と一次産業の低迷など、このような状況を打破するため、未来への投資として各種事業を推進している。特に農漁業に対する施策が重要と考え、担い手確保のため研修牧場の整備や、地域活性化のためサマーモン養殖事業を実施してきた。今後も持続可能な町の発展を目指す。

指し取り組んでいく。

問

研修牧場から未だ担い手は育っていないように、投資は結果が不確定なもの。財政ひっ迫が予想される中、今後もウイスキー事業など成果の不確定な投資に、何億も投入していくのか。

町長

私は今のところ財政がひっ迫しているとは思っていないが、引き締めながらやっていく。今、取り組んでいる事業は進めるが、新たな事業には着手しない。

問

町長は以前「自分の時代に貯めたお金は、自分の時代に使う」と言っていたが、本気か。

町長

それは全くの冗談。未来のために残していけるよう、これまで道債などを積み増してきた。これからもしっかり経営していく。

Q 災害時の「共助」を

どう進める

問

大規模災害時は、町職員だけで対応できるわけもなく、住民同士の「共助」が不可欠になるが、

それをどのように進め、担う人材をどう育てていくのか。

町長

昨年1月に発生した能登半島地震でも、家族の被災や道路寸断等で、役場に参集できた職員は2〜6割程度であり、被災状況の把握すら困難な状況になった。

一方、地域の住民同士が助け合い、自主的に避難所を開設した事例も多く、改めて共助の重要性が再認識させられた。

今後は地域の防災活動におけるリーダー人材を育成・組織化するとともに、継続的な啓発イベントや防災訓練等を通じて、住民同士が協力し、助け合う自主防災組織の拡大を進めていく。

問

視察に行った福島県いわき市では、防災士の資格取得費用を補助しており、毎年100名以上の市民が防災士として新たに登録されている。八雲町においても防災士資格取得や登録申請費の補助を考えられないか。

町長

人数や補助の出し方など、常任委員会に相談しながら、早い時期に進めていきたい。

新たに議会広報モニターとして1名の方が加わりました！

令和6年8月から^{のと}能戸さんが、新たに議会広報モニターとして委嘱されております。すでに委嘱されております水野さん、手塚さん、小山さんをはじめ、モニターの皆様から貴重なご意見・ご提案をいただきながら、更なる議会広報の充実に努めてまいります！

議会広報モニター1名を募集！

興味のある方は、八雲町議会事務局までお問い合わせください。 ☎0137-62-2388

定例会・臨時会議件一覧

令和6年第5回臨時会（令和6年10月30日）

議案第1号	令和6年度八雲町一般会計補正予算（第9号）	承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度八雲町一般会計補正予算（第8号））
令和6年第4回定例会（令和6年12月9日～12日）			
議案第1号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	議案第14号	令和6年度八雲町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
議案第2号	八雲町印鑑条例及び八雲町手数料徴収条例の一部を改正する条例	議案第15号	令和6年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
議案第3号	八雲町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	議案第16号	令和6年度八雲町病院事業会計補正予算（第3号）
議案第4号	八雲町教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例	承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（損害賠償額の決定について）
議案第5号	八雲町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（損害賠償額の決定について）
議案第6号	八雲町収入証紙条例及び八雲町廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例	発委第1号	八雲町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
議案第7号	八雲町地域会館等条例の一部を改正する条例	発議第1号	「核兵器禁止条約締約国会議」へのオブザーバー参加を求める意見書
議案第8号	八雲町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例及び八雲町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	発議第2号	ILOハラスメント禁止条約の批准を求める意見書
		発議第3号	「核のごみ」最終処分場選定の概要調査に反対することを求める意見書
議案第9号	八雲町公共下水道条例及び八雲町集落排水施設条例の一部を改正する条例	発議第4号	企業・団体献金の全面禁止等を求める意見書
議案第10号	八雲町給水条例の一部を改正する条例	発議第5号	再審制度改善を求める意見書
議案第11号	八雲町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	航空自衛隊八雲分屯基地有効活用及び周辺整備事業推進特別委員会調査報告書	
議案第12号	工事請負契約の締結について	二海サーモンプロジェクト及び土地収用法の適用に関する調査特別委員会報告書	
議案第13号	令和6年度八雲町一般会計補正予算（第10号）	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出について	

異議あり!

第4回定例会 賛否一覧（反対のあった議案を掲載）

賛成 ○ 反対 ×

議 件 名	採決結果	赤井 睦美	佐藤 智子	横田 喜世志	大久保 建一	関口 正博	宮本 雅晴	倉地 清子	三澤 公雄	牧野 仁	安藤 辰行	斎藤 實	能登谷 正人	黒島 竹満	千葉 隆
発議第1号 「核兵器禁止条約締約国会議」へのオブザーバー参加を求める意見書	否 決	○	○	○	×	×	×	欠	○	×	×	×	欠	×	△
発議第2号 ILOハラスメント禁止条約の批准を求める意見書	否 決	○	○	○	×	×	×	欠	○	×	×	×	欠	×	△
発議第3号 「核のごみ」最終処分場選定の概要調査に反対することを求める意見書	否 決	○	○	○	×	×	×	欠	○	×	×	×	欠	×	△
発議第4号 企業・団体献金の全面禁止等を求める意見書	否 決	○	○	○	×	×	×	欠	×	×	×	×	欠	×	△

※千葉隆議長は、賛否同数の場合にその可否を決定します。

議会カフェを開催しました！

令和7年1月12日（日）、二十歳の集いで議会カフェを開催し、皆さまの声をいただきました。

アンケートのまとめ！

Q.八雲町の良いところは？

- ・自然が豊かで住みやすい。空気や海がきれい。
- ・ほどよい田舎感。 ・元気な町長。 ・木彫り熊がある。
- ・住民同士のネットワークが厚いところ。
- ・生きていくうえで目標にしたい人たちがたくさんいる。
- ・地域の人が優しく温かい。 ・様々な年齢の方が活発的。
- ・家からスーパーほか、函館など、遠出しやすい。
- ・一次産業に力があり、活気のある町という印象。
- ・耳吊りで漁師さんに関われること。 ・ホタテが大きい。
- ・海産物や農作物が豊富。 ・食べ物がおいしい。



Q.「こんなものがあたら良いな」というものは？

- ・デパート、ショッピングセンター、もう少し大きめの商業施設。
- ・野田生地区にコンビニがほしい。 ・マクドナルド。 ・ミスタードーナツ。 ・ブックオフ。
- ・ジビエ専門店。 ・買い物を代行するところ。 ・八雲のものをたくさん集めたお店を開いてほしい。
- ・学生たちが遊ぶスペース（プリクラ、ゲームセンター等）。 ・ココノススキノみたいな施設。
- ・夜カフェ。 ・大きい遊園地。 ・スタジオ。 ・様々な年齢の方が楽しめる施設。
- ・新幹線の早期開通。交通機関の充実。 ・働く場所を増やしてほしい。

いただいたご意見を参考に、より良いまちづくりに取り組んでいきます！

議会のうごき

《11月》

- 14日 総務経済常任委員会
二海サーモン等特別委員会
- 21日 文教厚生常任委員会

《12月》

- 4日 議会運営委員会
- 9日～12日 第4回定例会
全員協議会
総務経済常任委員会
文教厚生常任委員会

広報広聴常任委員会
議会運営委員会

《1月》

- 10日 広報広聴常任委員会
- 16日 総務経済常任委員会
議会運営委員会
全員協議会
- 21日 広報広聴常任委員会
- 23日 文教厚生常任委員会
- 30日 第1回臨時会

常任委員会 の活動

令和5年11月から令和6年1月の
各常任委員会の活動です。

文教厚生

● 町立図書館へのエアコン設置について（図書館）

建築から25年が経過している八雲町立図書館は、エアコンの設置が2階視聴覚室のみとなっている。近年の温暖化の影響もあり、利用者からも要望が寄せられていることから、快適に施設を利用できるように、閲覧室等にもエアコンを設置する。

【設置機器】 家庭用エアコン（29畳対応）

【設置台数】 閲覧室4台、玄関ロビー、事務室、集会室に各1台

【設置スケジュール】 令和7年度に実施設計（約300万円）を行い、令和8年度に工事を予定

【委員からの意見】

- ・ 町民にとって嬉しいことだが、設置時期を令和8年より早くできないのか。
- ・ 家庭用エアコンなら、町内の電気店でも、電気量の計算はできるのではないか。

古い施設のため、地元業者では電気量の計算が難しいとのこと、専門の業者に依頼することになったそうです。設計費用が高額で驚きましたが、購入・設置費用はさらに高額になるとのことです。



● 第3期八雲町子ども・子育て支援事業計画（令和7年度～令和11年度）について（住民生活課）

第2期計画が令和7年3月で終了することから、子育てに関わる町民の実態と意向や、国・北海道の動きを反映し、これまでの事業の方向性の確認と調整を行い策定することとした。

事業計画の「障がい児とその保護者への支援」の取り組みの中に、「軽度・中等度難聴児に対する補聴器の給付」とあり、身体障害者手帳の交付対象外の在宅の児童を対象に、補聴器の購入、修理に要する費用を助成すると記載されています。

軽度で手帳はもらえないけど、不自由を感じるグレーゾーンのお子さんに光が当たったことは何より嬉しいことです。乳幼児の場合、早期発見・早期対応により、障がいの程度が軽減されることがあると言われているので、聴覚に限らず、支援の幅を広げてもらえることで、より安心に繋がると思っています。

【委員からの意見】

- ・ 乳幼児の助成が決まったのなら、高齢者にも補助を。
- ・ 財政が厳しいと予想される中で高齢者にも助成するのは難しいのではないか。
- ・ 補聴器は数十万円と高額なので、1～2万円の補助では役に立たない。
- ・ 補聴器の補助を始めたなら、眼鏡に対してはどうなのか。



● 梅家庭園隣接地土地購入について（社会教育課）

梅雲亭の駐車場が障がい者用1台分のみのため、隣接している土地を購入する予定。
面積…308・28㎡
購入費用…400万円（見込み）
購入時期…令和7年秋頃まで

●U・ターン就職奨励金事業について(商工観光労政課)11月報告

今後の町財政のひっ迫が予想されているところであり、一定程度の目的を達成したと判断し、令和7年度をもって事業を終了する。

奨励金額 令和7年度申請分は現金10万円、令和6年度申請分は商品券とする。

この報告を受けて、委員会から町長に、継続を希望する旨の「要望書」を提出した。

【要望書抜粋】

「本事業は産業の担い手確保、人口減少の抑制につながる事業と捉えていることから、継続を強く要望する。」

●U・ターン就職奨励金事業の再検討結果について(商工観光労政課)12月報告

令和6年度の申請受付をもって事業を終了し、就業・定住状況等

について調査・検証を行い、より効果的な施策を検討する。

奨励金額 令和6年度申請分は商品券とする。

【委員からの意見】

- ・委員会から要望書まで出して継続を求めたのに、後退案が出てきたのは、どうしてなのか。
- ・町内事業者は依然として人手不足であり、事業効果も高いのになぜ?
- ・3年間の事業ということだが、検証が不十分ではないか。
- ・財政ひっ迫なら、他の大型事業を見直すべきではないのか。

その後、全員協議会の中で町長と協議する場を設けたところ、町長から「1年間、事業を継続し、今後については検討していく。」との報告があった。

●勤労者センター駐車場整備事業について(商工観光労政課)

東雲町会館の代わりとして利用されており、駐車場の拡張の要望もあつたため、令和7年度に土地

を購入し、整備する。

工事経費は指定管理者である八雲地区連合会へ補助金を交付して実施する予定。

【委員からの意見】

- ・切迫した需要を感じない。
- その後、令和7年度は土地の購入に留め、駐車場整備は令和8年度以降に検討すると報告があつた。

●空家の解体に対する補助事業について(建設課)

令和3年度〜5年度で実施したが、要望が多数あるため、再度、令和7年度〜9年度まで実施する。

事業内容 工事費の2分の1を補助。(上限50万円)

空家の条件

- ・八雲町内に存するもので、個人所有の建物。
- ・居住していない戸建ての住宅。
- ・所有権以外の権利が設定されていないこと。
- ・町税等を滞納していないこと。
- ・昭和56年以前に建設された建物。(新耐震基準を満たさない建物)

●防犯カメラ設置事業について(危機対策課)

【目的】

通学路等の交通安全対策と防犯対策のため、また、事件・事故発生時の動画による検証、危険運転及び犯罪等の抑止を図る。

【設置方法】

北海道電力ネットワーク(株)の電柱に設置。

【設置場所】

八雲郵便局前交差点、北洋銀行・ろうきん前交差点、セイコーマート出雲店前交差点。

【カメラ機能】

HDDレコーダーに動画を保存(14日間)。

【事業費】

機器本体・設置工事費78万7千円。毎年度の維持費として保守点検費、通信費、賠償責任保険料で17万5千円を計上。

令和7年度は新たに2箇所程度の設置場所を検討する。

【委員からの意見】

「防犯カメラ設置」と大きく表示してこそ、効果が高まるのではないか。

提案されたカメラの角度では車のナンバーが見えにくいのでは。

耳をすまして

町民の皆さまの声が聞きたくて、議会を飛び出し町内の色々な団体やサークルなどの皆さまの声を聞いてみました。

今回は

八雲文化研究会事務局の皆さんです！

Q 八雲文化研究会とはどんな団体ですか？

・八雲町独自の文化と道南や北海道独自の文化を広める活動をしている団体です。

Q どんなことを主にされていますか？

- ・行燈のオブジェを公開展示したり、下の句かるたの指導や体験をわくわく教室や八雲町文化祭で行いました。
- ・八雲山車行列への参加やオブジェの制作。
- ・キャンプ村に参加し、「パークゴルフ体験」「生乳でのチーズづくり体験」などを行いました。また、参加キャンパーと行燈を作り、山車行列に参加しました。

Q 今年の活動予定や夢などお聞かせください。

- ・今年は八雲文化祭で梅村庭園を借りて、下の句かるたの八雲大会を実現させたいです。
- ・大きな夢ですが、山車行列の期間以外にも行燈オブジェを鑑賞していただける公開展示をもっと行いたいです。それには、山車を創る人を増やしたり、置いてくれる商店を探したりすることが課題です。
- ・山車行列キャンプ村の企画が今年もあれば、参加キャンパーと昨年よりも大がかりな山車を創って、山車行列で「大賞」をねらいたいです。

Q 下の句かるたの魅力は？

・木に触れる。集中力がつく。いち早く取れた時の爽快感などです。下の句かるたは北海道特有の文化で、北海道遺産に登録されています。競技は3人でチームを組み、先に自陣の札がなくなったら勝ちとなります。

Q 行燈づくりの魅力は？

・行燈は作ることに魅力があるので、是非制作に参加してほしい。昨年行った山車行列キャンプ村と連携し盛り上げたいが、個人負担も大きく課題がある。山車行列の必要性をもっと町民に理解してもらえるように取り組みたいと思っています。

Q 八雲に住んでみての感想は？

・名所や特産品など、八雲の魅力が十分には発信できていないと思います。うまくやれば観光客も移住者も増えると思います。地元企業や団体と手を



組んで、今年は「八雲の存在を内外にPR」していきたいですね。

Q 町と議会に望まれることはありますか。

・課外教育に山車の制作体験や下の句かるた体験を取り入れて、道南の文化、八雲独自の文化を引き継がれていって欲しい。「未来も八雲であり続けるために！」

・・・取材を終えて・・・

八雲町のことを愛する気持ちがとても伝わりました。八雲町を活性化させたい強い志を持つ八雲文化研究会の皆様には、これからも頑張っていただきたいと思います。



営利を目的とする場合を除き、この議会広報誌をそのまま読むことが困難な方のために、録音図書・拡大写本等へ複製することを認めます。製作後は八雲町議会事務局 ☎0137-62-2388) へご報告ください。

編集後記

昨年、89歳の建設作業員が現場で事故死したとの報道を目にした。建設現場での労働災害は珍しいことではない。それでも事故に遭った作業員が89歳という超高齢だったことは衝撃だった。人口減少・少子高齢化社会における雇用問題を解決するため、高齢者の雇用促進が求められている。健康な面、体力の衰えの不安がある。でも、長年培った経験・知識の豊富な高齢者の方々に働いていただけることは、人手不足問題解決への糸口となっているのは確かだ。しかし、働く人が足りないからと、安易な高齢者雇用にはなく、健康面・体力面などの問題に配慮した労働条件は必要であることも労働世代間の気遣い・相互理解は何よりも必要なことだ。これはこれからも少子高齢化社会は続いていく。八雲町が生涯にわたって、生きがいを感じられるまちであり続けるために、あらゆる世代が、役割を分担しながら、つながり、支え合えるまちづくりを進め続けなければならぬ。

議会広報広聴常任委員会
副委員長 関口 正博